

miratap

システムキッチン

グラッド 45

組立設置説明書 01-GRA01S-22

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



ステンレス製ワークトップを取扱うときは、必ず
保護手袋をしてください。
切断面に触ると、ケガをするおそれがあります。



キャビネット・レンジフードなどの設置は、建築
壁の構造を確かめて説明書どおりに正しく行って
ください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



レンジフード横には不燃ウォールキャビネットを
使用してください。
(詳しくは、所轄の消防署へ確認ください)
火災の原因になることがあります。



電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・
規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあり
ます。



組込まれる電気製品・加熱機器・レンジフード・
その他機器については、各説明書および本体の表
示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取
付けしないでください。
排水能力の低下で、シンクから水があふれ、床を汚す原
因になることがあります。



棚板を設置するときは、棚受けをすき間のないよ
う根元まで確実に差し込んでください。
棚板がはずれ収納物が落下し、ケガをするおそれがあり
ます。



防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付けお
よび給排水管の接続を確実に行ってください。
水漏れや湿気で、床などが腐る原因になることがあります。



組立設置完了後は、引出し・扉のがたつきや丁番
のゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。

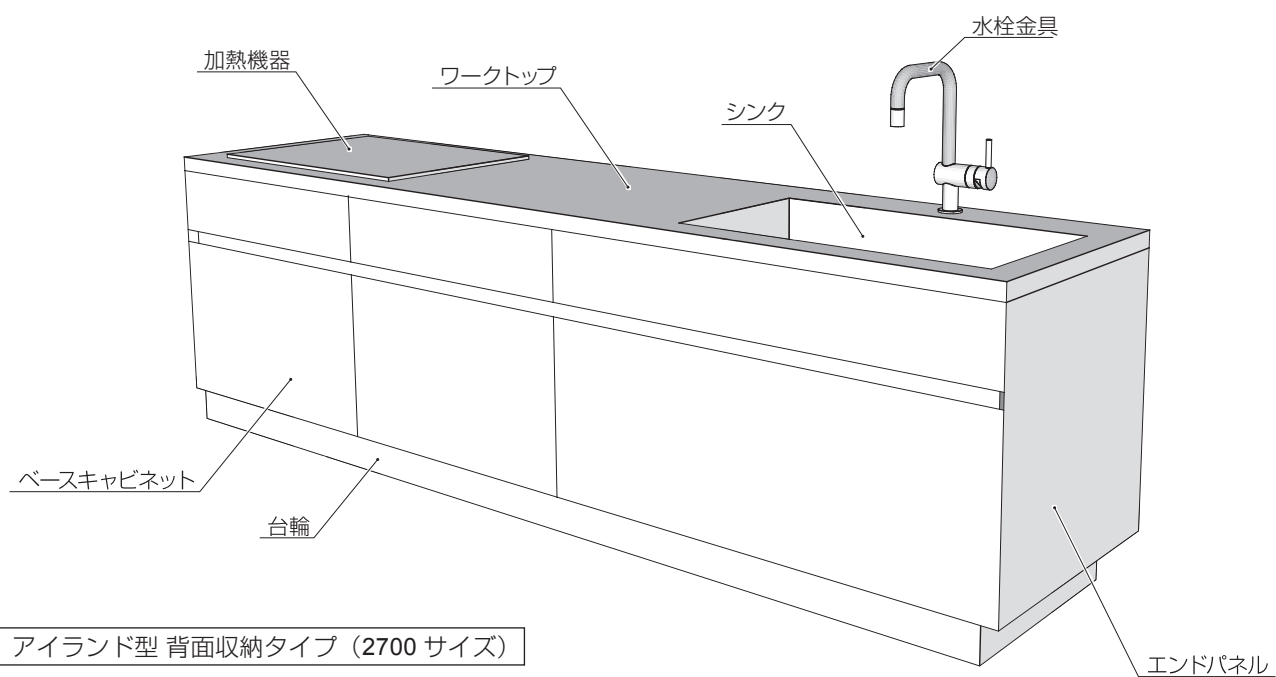
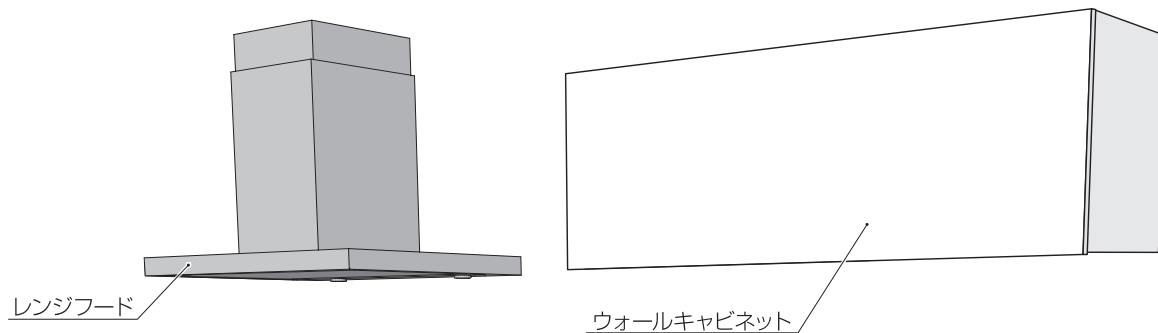


設置の仕上げに使用する溶剤・その他薬品類は、
各注意表示に従って正しくお使いください。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材
の損傷や劣化の原因になることがあります。

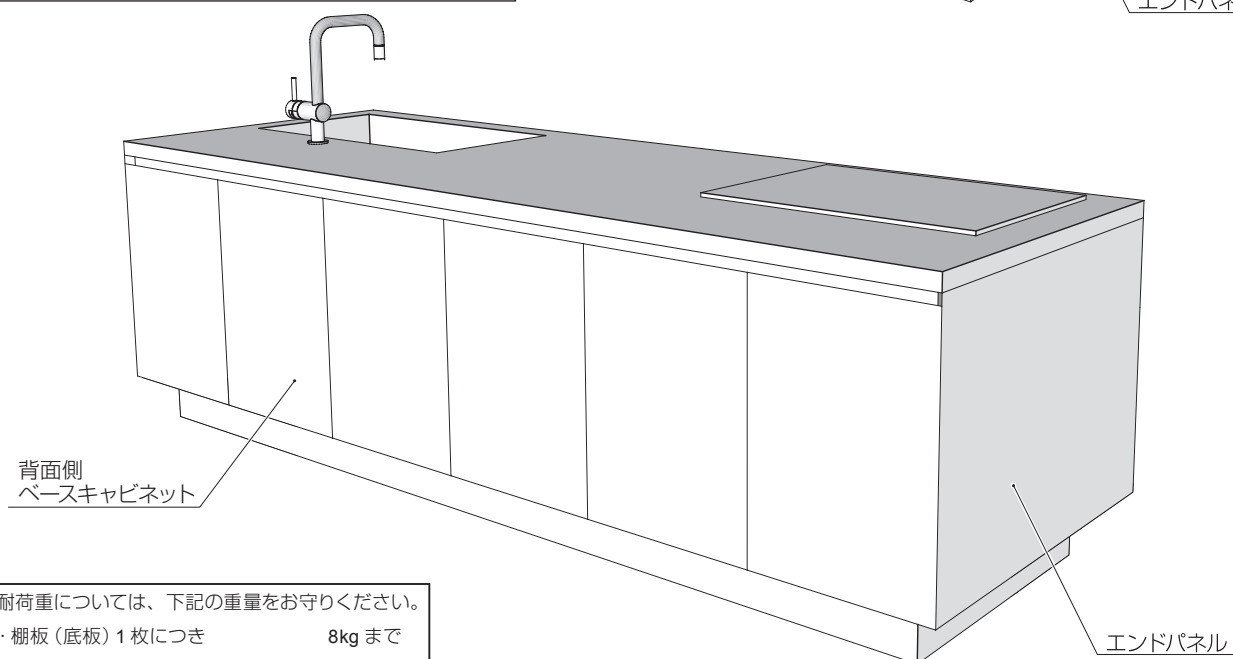
1 各部の名称

◎グラッド 45

ウォール型 (2700 サイズ)



アイランド型 背面収納タイプ (2700 サイズ)



耐荷重については、下記の重量をお守りください。

- ・棚板(底板) 1 枚につき 8kg まで
- ・引出しヶ所につき 12kg まで

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法(桟木 45mm × 100mm 以上の強度のある硬い木材または 12mm 以上の合板)
- 必要な給水給湯管・排水管・ガス配管・電気配線の位置および接続方法
- ガス種・電圧 (100V/200V)・周波数
- レンジフード用の開口 (ダクト) の位置および寸法
- 火災予防条例に準拠したレンジフード・コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法



キャビネット・レンジフードなどを取付ける取付用下地（桟木 45mm × 100mm 以上または 12mm 以上の合板）が指定どおりに使用されていることを確認してから取付けてください。
(取付用桟木に十分なネジ保持力がないと、使用中に落下し、ケガをするおそれがあります)

● キッチン本体総重量（一例）

タイプ	ウォール型 W2400	カウンタータイプ W2550	背面収納タイプ W2700
重量	230kg	275kg	330kg

● ウォールキャビネット総重量

幅	W750	W1050	W1200	W1275	W1350
重量	25kg	35kg	38kg	40kg	45kg

《同梱部材一覧》

同梱部材は台輪の部材箱に入っています。

※ スポンジパッキンのみエンドパネルに同梱（下表参照）しています。

※ ウォールキャビネットは庫内に同梱しています。

部材名	連結金具ボルト F M3 × L26	連結金具ナット D M3 × L12	A トラストタッピンネジ 4.5 × 60 SUS	A トラストタッピンネジ 4 × 14 SUS	A トラストタッピンネジ 3.5 × 12
数 量	15（背面収納：27）	15（背面収納：27）	15（ウォールキャビネット：8）	18（国産食洗機下設置の場合：22）	27（背面収納：36、 ハーフカウンター：35）
図					

部材名	A トラス φ 4 × 25 SUS	+ A トラス 4 × 10 SUS	皿タッピンネジ φ 4 × 12 SUS	コーススレッド 3.8 × 32	トラス M4 × 8 SUS
数 量	国産食洗機：2	輸入食洗機：3 国産食洗機：8	輸入食洗機：8	輸入食洗機：4	バックパネル・カウンター：35 背面収納：12 ハーフカウンター：4
図					

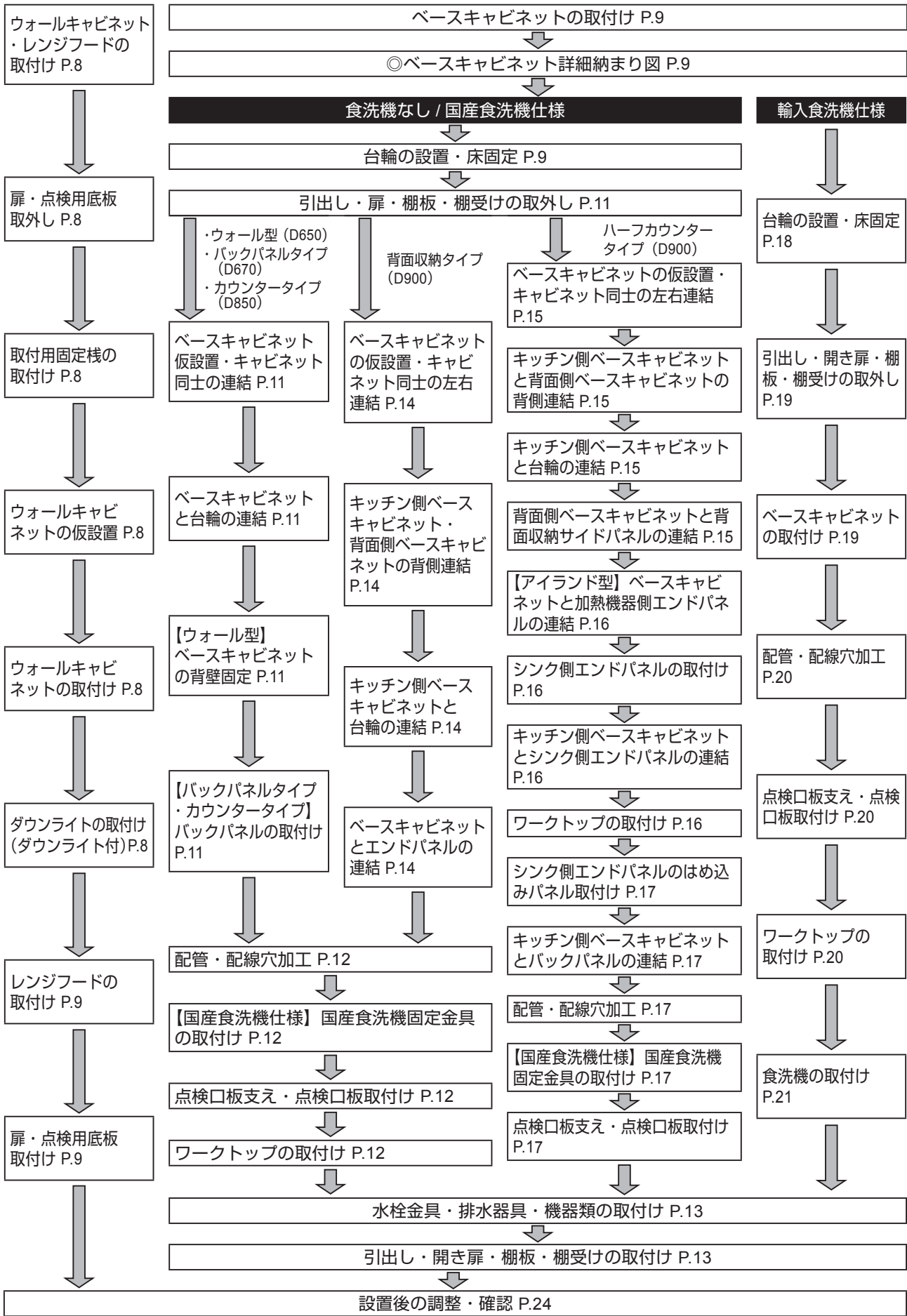
部材名	トラス M4 × 5 SUS	スリムヘッド M4 × 10 SUS	スリムヘッド M4 × 6 SUS	A 丸木ネジ 3.5 × 25 SUS	ナット M4 用 SUS
数 量	背面収納：18 ハーフカウンター：21 輸入食洗機の場合：+ 6	輸入食洗機：4	輸入食洗機：1 国産食洗機上設置：6 国産食洗機下設置：4	背面収納：9 バックパネル・カウンター・ ハーフカウンター：6	国産食洗機下設置：2
図					

部材名	皿木ネジ 4.5 × 63	MB テクスナベ 4 × 13 SUS	バンポン	調整クサビ	中空スペーサー 4 × 5.3
数 量	ウォールキャビネット：12	10	④内引出し付シンクベース キャビネット：2 ⑤バックパネル・カウンター・ ハーフカウンター：15	3	ハーフカウンター：4
図					

部材名	A トラストタッピンネジ 3.5 × 30	トラスネジ M4 × 25	平座金（ワッシャー） 6 × 20 SUS	平座金（ワッシャー） M4 用 SUS	スポンジパッキン （グレー色）長さ 200mm ※同梱場所：エンドパネル
数 量	ハーフカウンター：2	ハーフカウンター：2	38（バックパネル・カウンター：68、 背面収納：50、ハーフカウンター：42、 ウォールキャビネットの場合：8） 輸入食洗機の場合：+ 2	ハーフカウンター：2	ハーフカウンター：1
図					

部材名	ウォールキャビネット取付用固定枠 W750 / 1000 / 1150 / 1225 / 1300 × H100 × t15	
数 量	切欠き有り：1 本	切欠き無し：1 本
図		

3



4 設置手順



- 取付け時には引出しや扉・棚板・棚受金具を取外して作業を行ってください。また引出しや扉に汚れやキズが付かないように養生をして保管してください。
- 引出しを持つ場合は、必ず引出しの側板部分を持ってください。
(左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります)
- ネジ固定は、締めすぎによる空まわりをしないようにしてください。
- ダウンライト付ウォールキャビネットの場合は、取付前に必ず点検用底板を外して作業を行ってください。

1. ウォールキャビネット・レンジフードの取付け

① 扉・点検用底板（ダウンライト付のみ）の取外し

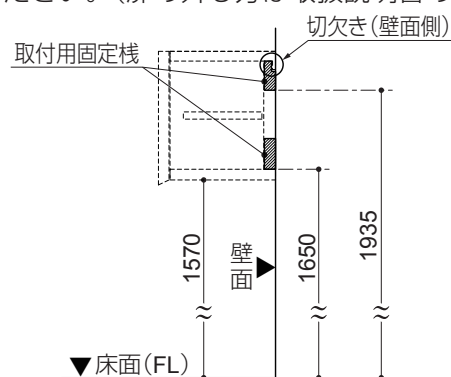
取付け前に扉と点検用底板（ダウンライト付のみ）を取外してください。（扉の外し方は取扱説明書の「各部の調整」を参照）

② 取付用固定木の取付け

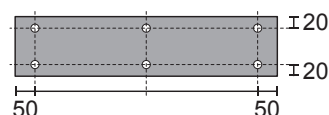
仕上り床面を基準に、ウォールキャビネット固定木を取付皿木ネジ 4.5 × 63（ウォールキャビネット固定木壁固定用）で壁面に取付けてください。

● 取付ネジはウォールキャビネット内に同梱。

※ 吊戸棚下端が床面 FL から 1570mm の場合、切欠き有りの固定木は床から 1935mm、切欠き無しの固定木は床から 1650mm の位置に取付けてください。
(仕上がり床面 FL ~ 固定木下端)



固定木1枚につき、取付皿木ネジ4.5×63：6ヶ所



③ ウォールキャビネットの仮設置

ウォールキャビネット背板のフックを固定木の欠きに引っかけて、仮設置してください。

【ダウンライト付きの場合】

ダウンライト付ウォールキャビネットの場合は、取付時ウォールキャビネット背板引込み穴より電気配線を取込んでください。

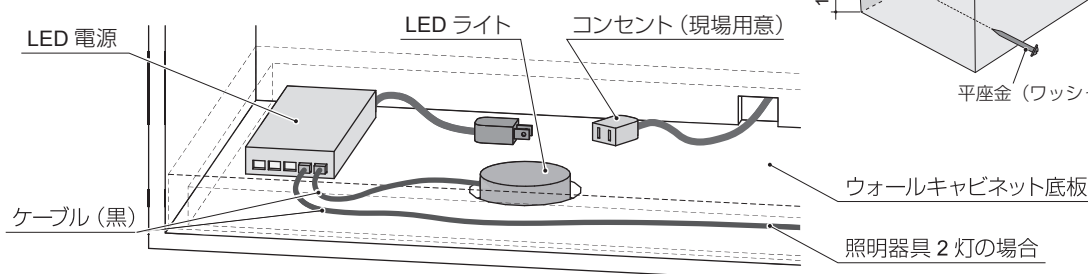
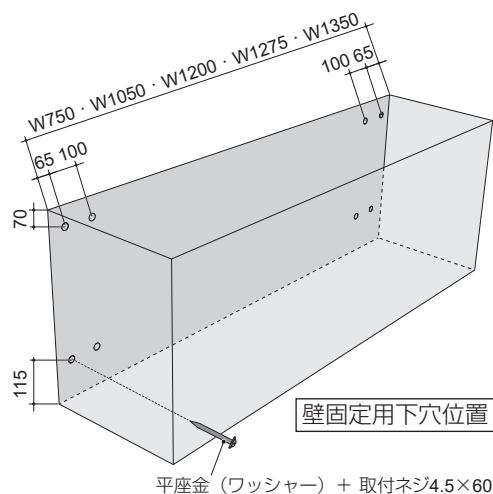
④ ウォールキャビネットの取付け

ウォールキャビネット背板の固定穴から、取付 A トラスネジ 4.5 × 60（ウォールキャビネット壁固定用）に付属の平座金（ワッシャー）をかませ壁面へ固定してください。（8ヶ所）

⑤ ダウンライトの取付け（ダウンライト付のみ）

※ 必ずダウンライト同梱の説明書をご確認ください。

- ・『LED ライト』と『ケーブル（黒）』を接続してください。
- ・『ケーブル（黒）』と『LED 電源』を接続した後、『LED 電源』をコンセント（現場用意）に接続してください。



⑥ レンジフードの取付け

レンジフードに付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。

⑦ 扉・点検用底板（ダウンライト付のみ）の取付け

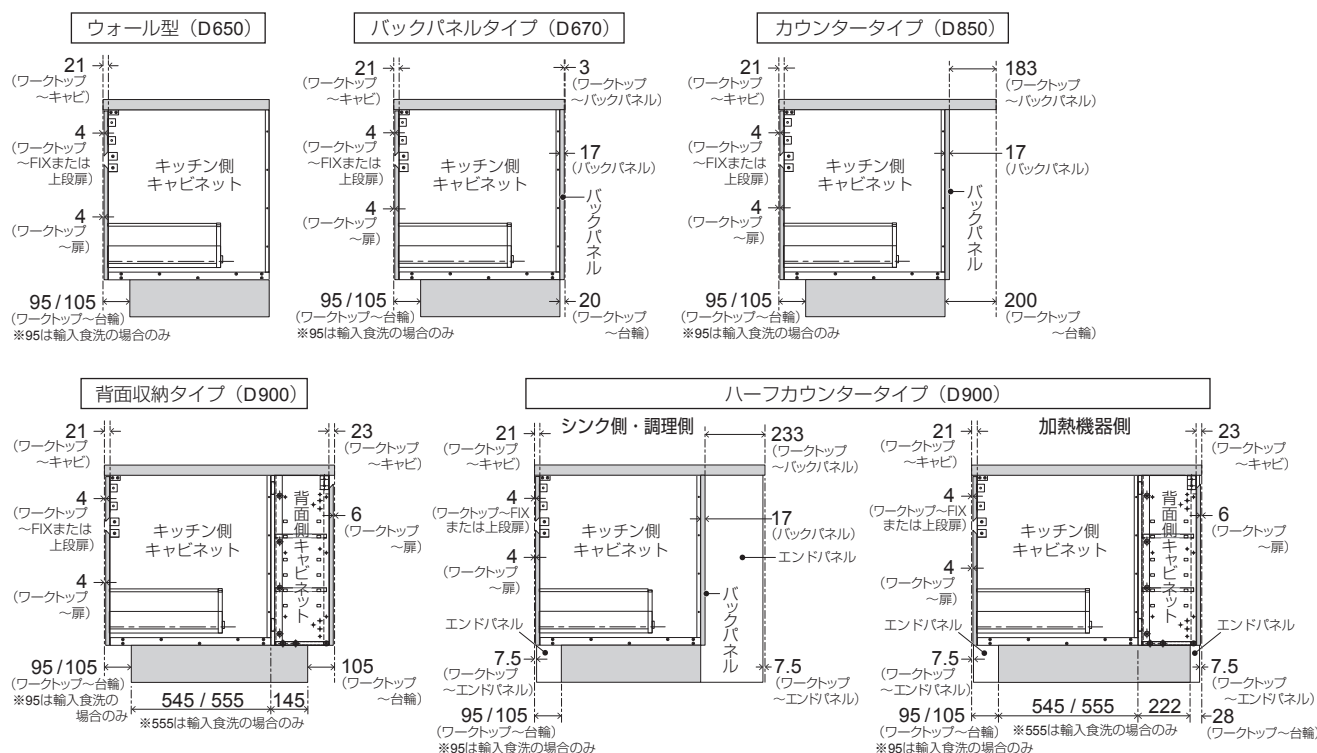
ウォールキャビネット取付前に取外した扉と点検用底板（ダウンライト付のみ）を取付けてください。

※ 扉の取付け方は取扱説明書の「各部の調整」を参照

※ 養生フィルムは優しく丁寧に剥がしてください。

2. ベースキャビネットの取付け

◎ ベースキャビネット詳細納まり図



食洗機なし / 国産食洗機仕様の場合の取付け ※ 輸入食洗機仕様の場合は P.18 をご覧ください。

① 台輪の設置

図面にに基づき、台輪を設置してください。

※ 台輪運搬時は、台輪連結部（右図参照）でステンレスが変形する可能性があるのでご注意ください。

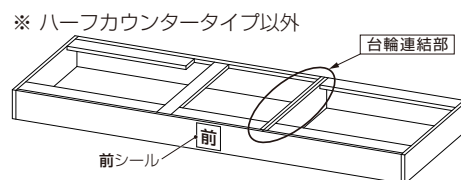
※ 台輪上面の水平レベルを出して設置してください。

- 台輪には設置向きがあり、「前」シールが貼られている面をキッチン側（調理側）に向けて設置してください。「前」シールがない面は、ウォール型の場合：背壁側、ウォール型以外の場合：リビング側となります。

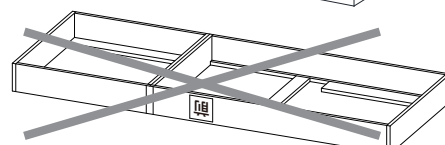
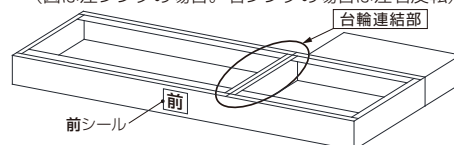
※ 右図の状態で設置すると上下の向きも正しく設置できます。

⚠ 台輪上面の水平レベルが出ていないとキャビネット取付け時にゆがみが発生しますのでご注意ください。

⚠ 台輪、キャビネットの水平レベルが出ない場合は、部品箱に同梱の調整クサビまたは現場調達のパッキンにて、キャビネットと台輪もしくは台輪と床面の間に差し込み微調整を行ってください。



※ ハーフカウンタータイプ
(図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転)



※ 設置向きが違うと正しく施工できませんので、注意してください。

② 台輪の床固定

台輪に取付けられている L 金具を利用し、取付 A 丸木ネジ 3.5 × 25 で台輪を床固定してください。

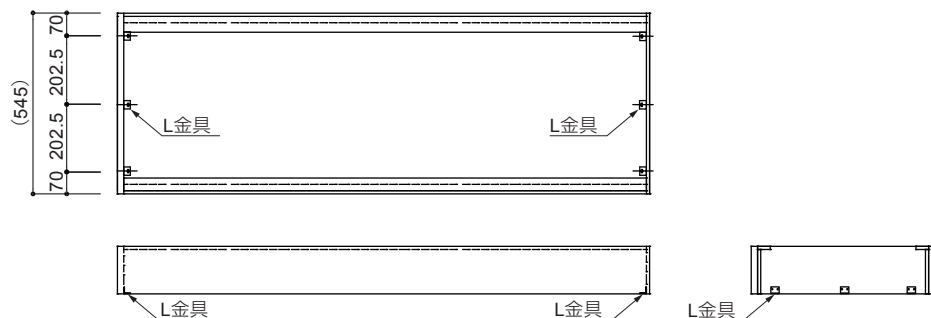
※ ウォール型の場合は、台輪の床固定は不要です。

※ 床配管・配線および床暖房設備への干渉がないことを確認してから床固定してください。

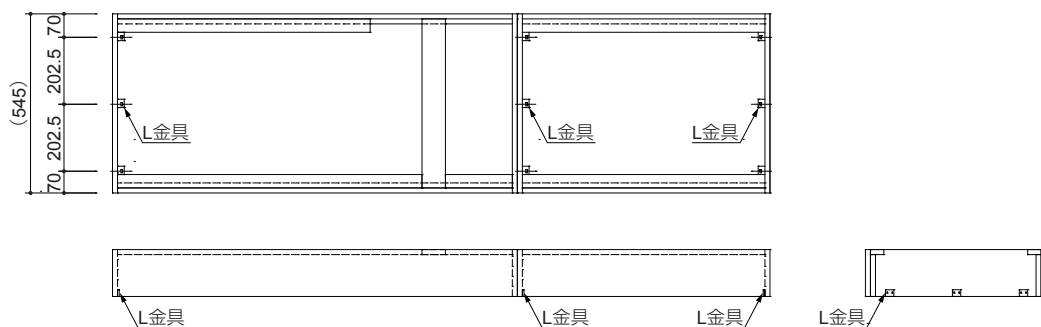
※ レーザー等で台輪上面の水平レベルを確認してから床固定してください。

(水平レベルが出ない場合は、部品箱に同梱の調整クサビまたは現場調達のパッキンにて、台輪と床面の間に差し込み微調整を行ってください)

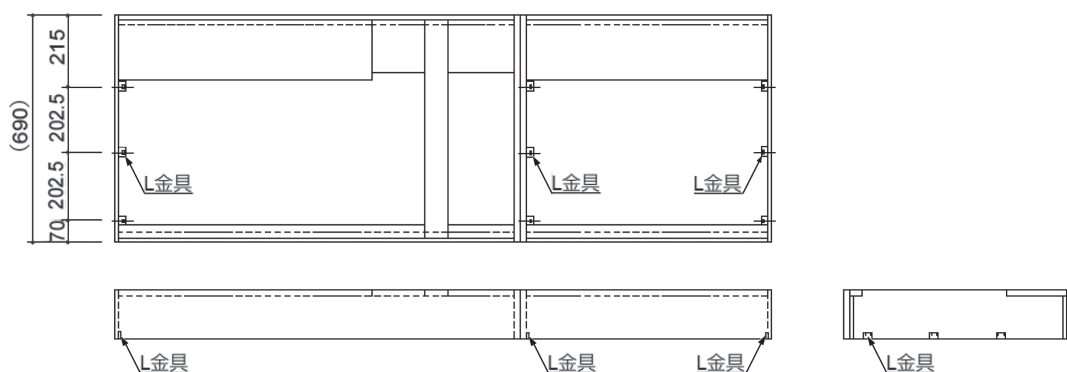
《W1800 の場合》



《バックパネル型・カウンター型の場合》

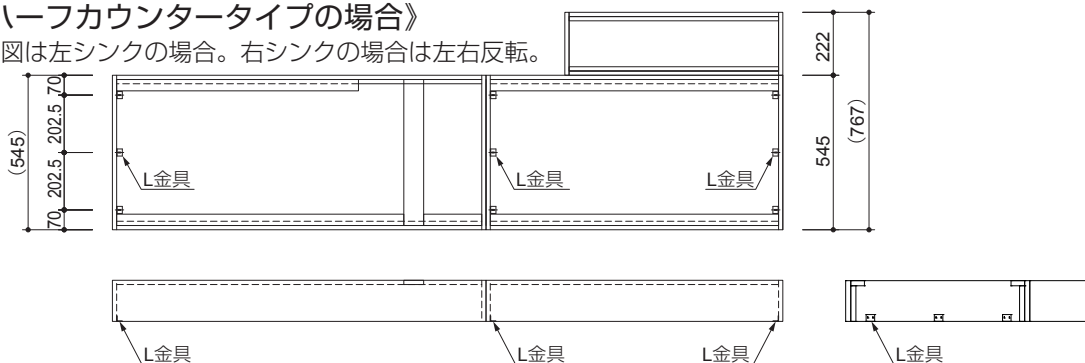


《背面収納タイプの場合》



《ハーフカウンタータイプの場合》

※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。



③ 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取外し

- 取扱説明書の「各部の調整」を参照し、以下を行ってください。
- 引出しを取外してください。
- (背面収納タイプ・ハーフカウンタータイプの場合) 背面側ベースキャビネットの開き扉を取外してください。
- (背面収納タイプの場合) 必ず、背面側ベースキャビネットの棚板・棚受けを取外してください。
アイランド型：両サイド(シンク・コンロ側)のベースキャビネット
ペニンシュラ型：シンク側の背面ベースキャビネット
- (ハーフカウンタータイプの場合) 必ず、背面側ベースキャビネットの棚板・棚受けを取外してください。

背面収納タイプは P.14 へ / ハーフカウンタータイプは P.15 へ

④ ベースキャビネットの仮設置・キャビネット同士の左右連結

図面に基づきキャビネットを仮設置し、中央のキャビネット両側板から連結ボルト M3 × 26 + ナット M3 × 12 にて左右のベースキャビネット同士を連結してください。(各面 6 ヶ所固定)

※ レーザーなどで水平レベルを確認して連結を行ってください。

⑤ ベースキャビネットと台輪の連結

ベースキャビネット底板の固定穴から、平座金(ワッシャー) + 取付 A トラスネジ 4 × 14 でベースキャビネットと台輪を固定してください。

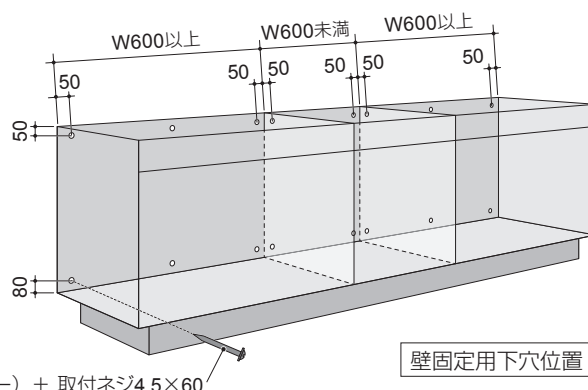
※ レーザーなどで水平レベルを確認して固定してください。

※ キャビネットの水平レベルが出ない場合は、部品箱に同梱の調整クサビまたは現場調達のパッキンにて、キャビネットと台輪の間、もしくは台輪と床面の間に差し込み微調整を行ってください。

⑥ 【ウォール型の場合】ベースキャビネットの背壁固定

ベースキャビネットの水平レベルを確認して、平座金(ワッシャー) + 取付 A トラスネジ 4.5 × 60 で壁面へ固定してください。

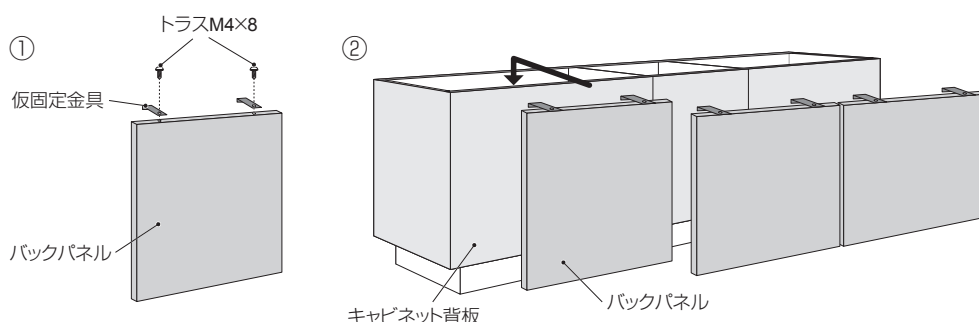
- W600mm 以上：上下計 6 ヶ所
- W600mm 未満：上下計 4 ヶ所



⑦ 【バックパネルタイプ・カウンタータイプの場合】バックパネルの取付け

次ページの図を参照し、

- ① 部品箱に同梱の取付ネジ(トラス M4 × 8)で仮固定金具を固定してください。
- ② バックパネルに取付けた仮固定金具をキャビネット背板に引っかけて、仮固定してください。
- ③ キャビネット内側から部品箱に同梱の平座金(ワッシャー) + トラス M4 × 8 ネジでバックパネルを仮固定してください。(キャビネット背板に見える長穴を使用して仮固定してください)
※ 全てのネジを仮止めとし、最終微調整後に本固定してください。(パネル 1 枚：9 ヶ所)
(バックパネルの左右と中央の隙間は均等になるように調整してください。)
※ 面合せに微調整が必要な場合は、部品箱に同梱のバンポンを使用してください。
- ④ ①の仮固定金具を取外します。
※ バックパネルには右・左があるため、取付けの際は注意してください。
※ バックパネルには傷防止のフィルムを貼ってありますが、設置時に L 金具などで傷を付けないよう取扱いには注意してください。



⑧ 配管・配線の取出し穴加工

ベースキャビネットの底板点検口に、必要に応じた配管・配線の取出し穴を開けてください。

⑨ 【国産食洗機仕様の場合】 国産食洗機固定金具の取付け

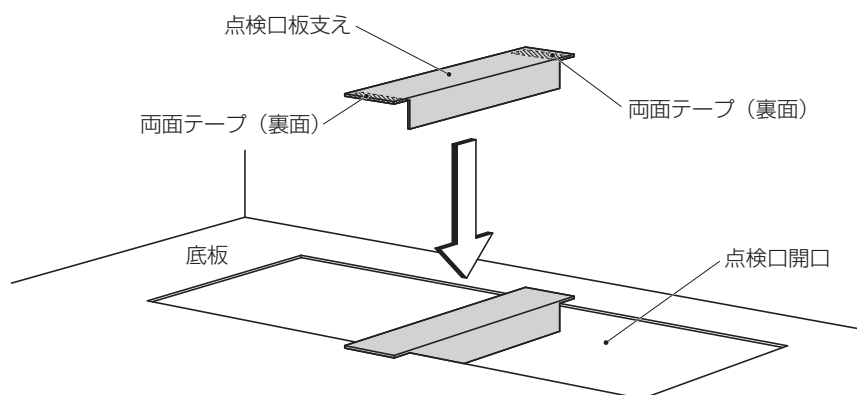
P.22～23を参照し、国産食洗機固定金具を取付けてください。

⑩ 点検口板支え・点検口板の取付け

① 点検口板支えの裏面に貼られている両面テープの剥離紙をはがし、下図を参照し点検口の中央部（配管などの干渉に注意）に貼り付けてください。

※ 点検口板支えは点検口のたるみを防止する部材です。

※ 点検口板支えは点検口板と一緒にベースキャビネットキャビネット背板に貼って同梱しています。



② 点検口板は大きいほうを手前にして、ベースキャビネットの底板に取付けられているトラスネジ M4 × 8 を用いて重ねて取付けしてください。

3. ワークトップの取付け

① ワークトップの仮設置

ベースキャビネットの上にワークトップを仮設置し、ワークトップとベースキャビネットの左右両側のチリが均等になるように調整してください。

② ワークトップの取付け

ベースキャビネットに仮設置したワークトップの裏面に、ワークトップ用の取付 A トラストッピンネジ 3.5 × 12 でベースキャビネット内側のワークトップ固定穴から固定してください。

※ ネジの長さを確認してから固定してください。

※ ワークトップ取付後、水平レベル・建ち等を確認してください。



- ワークトップ端部でケガをしないよう注意してください。
- 開梱後にワークトップを持ち運ぶときは、出来る限り立てて持ち運んでください。（奥行方向を平らにして両端を持つと、変形の原因になります）

4. 水栓金具・排水器具・機器類の取付け

① 水栓金具の取付け

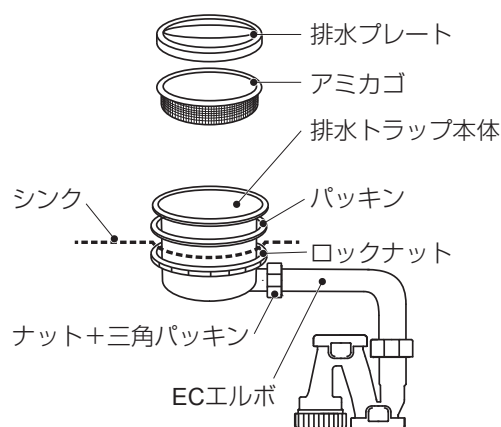
水栓金具に付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。

※ 水栓により、先にワークトップに取付ける場合があります。

② 排水器具の取付け

排水器具は右図の順序で取付けてください。

※ ロックナットの締付けは専用の締付工具を使用し、
その他のナットは手で漏水のないように確実に固定
してください。



③ 各種機器の取付け

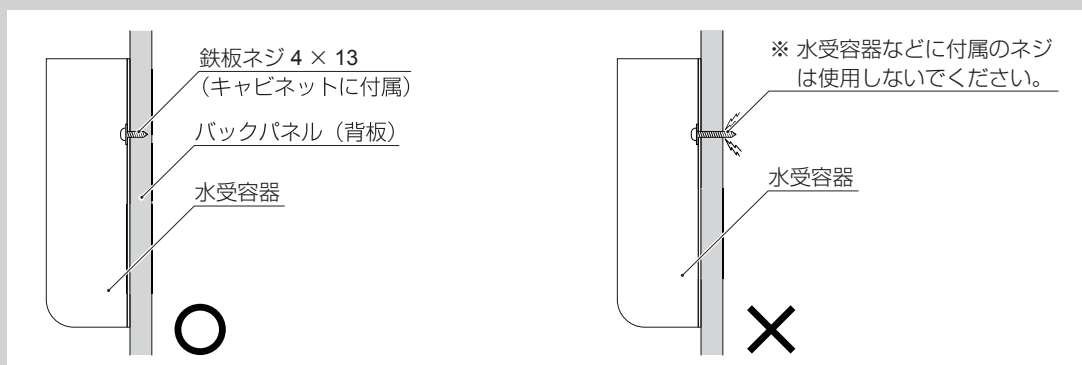
各種機器は、本体に付属されている工事説明書どおりに、
正しく取付けてください。



- 食洗機用電源コンセント・IH ヒーター用電源コンセント・グローエ製引出式水栓用水受容器・ガス配管等の固定用サドルバンド、浄水カートリッジ取付台などをキャビネット背板に固定する場合は、台輪の部品箱に同梱の鉄板ネジ 4 × 13 を必ず使用してください。(鉄板ネジは 10 本同梱しております)



- アイランドタイプ・ペニンシュラタイプで、上記の場合に水受容器などに付属の長いネジを使用すると背板またはバックパネルを貫通する可能性があります。必ず台輪の部品箱に同梱の鉄板ネジ 4 × 13 を使用してください。(背面収納の背板の厚みは 14mm、バックパネルの厚みは 17mm です)



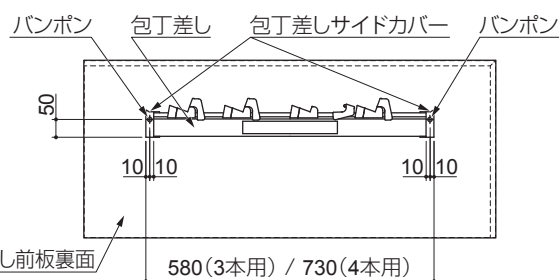
5. 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取付け

① 【内引出し付シンクベースキャビネットの場合】包丁差しにバンポンの貼り付け

右図を参照し、シンクベースキャビネット引出しの包丁差しサイドカバーにバンポン（部品箱同梱のバンポン厚み 3.8mm のもの）を貼り付けてください。

※ 内引出しのないシンクベースキャビネットの場合、
包丁差しにバンポンの貼り付けは不要です。

※ 緩衝材の黒いスポンジテープは優しく丁寧に剥がしてください。



② 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取付け

P.11「③ 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取外し」で取外した引出し・開き扉・棚板・棚受けを取付けてください。(取扱説明書「各部の調整」参照)

※ 養生フィルムは優しく丁寧に剥がしてください。

背面収納タイプで食洗機なし / 国産食洗機仕様の取付け

※ 背面収納タイプで輸入食洗機仕様の場合は P.18 ～を参照してください。

1. ベースキャビネットの取付け

① P.9～11「2. ベースキャビネットの取付け ① ② ③」を参照し、手順通りに正しく取付けを行ってください。

② ベースキャビネットの仮設置・キャビネット同士の左右連結

図面に基づきキッチン側ベースキャビネット・背面側ベースキャビネットを仮設置してください。

① 中央のキッチン側ベースキャビネット両側板から連結ボルト M3 × 26、ナット M3 × 12 を用いて左右のキッチン側ベースキャビネット同士を連結してください。(各面 6 ヶ所固定)

② 中央の背面側ベースキャビネット両側板から連結ボルト M3 × 26、ナット M3 × 12 を用いて左右の背面側ベースキャビネット同士を連結してください。(各面 6 ヶ所固定)

※ ⑤の図を参照し、レーザーなどで水平レベルを確認して連結を行ってください。

③ キッチン側ベースキャビネットと背面側ベースキャビネットの背側連結

キッチン側ベースキャビネット背板の固定穴から、平座金（ワッシャー）＋トラスネジ M4 × 8 を用いて背面側ベースキャビネットを連結してください。(背面側ベースキャビネット 1 台につき両端×上下の 4 ヶ所)

※ 取付ネジは部品箱に同梱。

※ レザーなどで水平レベルを確認して連結してください。

※ キッチン側ベースキャビネット背板には複数の穴があいていますが、キッチン側ベースキャビネットの長穴と、背面側ベースキャビネット背板のタップ加工位置が合う箇所を連結してください。

④ キッチン側ベースキャビネットと台輪の連結

P.11「⑤ ベースキャビネットと台輪の連結」を参照しキッチン側ベースキャビネットと台輪を連結してください。

⑤ ベースキャビネットとエンドパネルの連結

① ベースキャビネットの側板にエンドパネルをかぶせてください。

② 下図を参照しベースキャビネット側板の固定用穴から、エンドパネルをネジ固定してください。

使用ネジ：M4 × 5 エンドパネル 1 枚につき 9 ヶ所

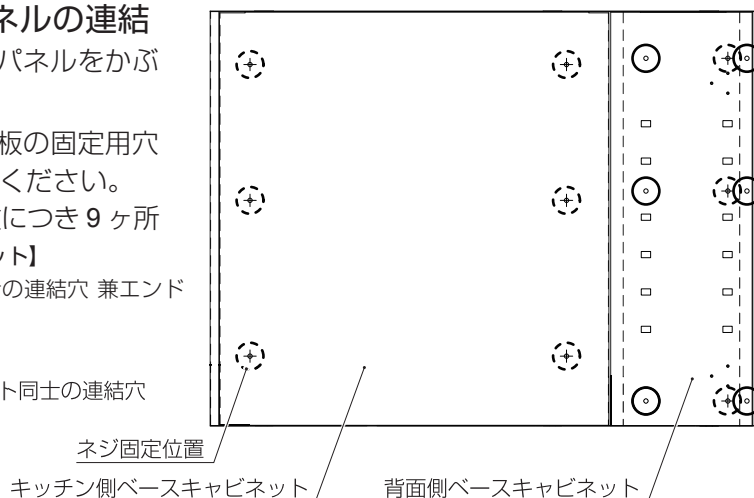
【キッチン側ベースキャビネット】

⊕ ベースキャビネット同士の連結穴 兼エンドパネル固定穴

【背面側ベースキャビネット】

○ 背面側ベースキャビネット同士の連結穴

⊕ エンドパネル固定穴



⑥ 配管・配線の取出し穴加工

⑦ 【国産食洗機仕様の場合】国産食洗機固定金具の取付け

⑧ 点検口板支え・点検口板の取付け

P.12 の同項目を参照し取付けを行ってください。

2. ワークトップの取付け

※ 背面収納側は、背面収納キャビネット 1 台あたり 8 ヶ所のワークトップ固定をしてください。

3. 水栓金具・排水器具・機器類の取付け

4. 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取付け

P.12～13 の同項目を参照し取付けを行ってください。

ハーフカウンタータイプで食洗機なし / 国産食洗機仕様の取付け
※ ハーフカウンタータイプで輸入食洗機仕様の場合は P.18 ~を参照してください。

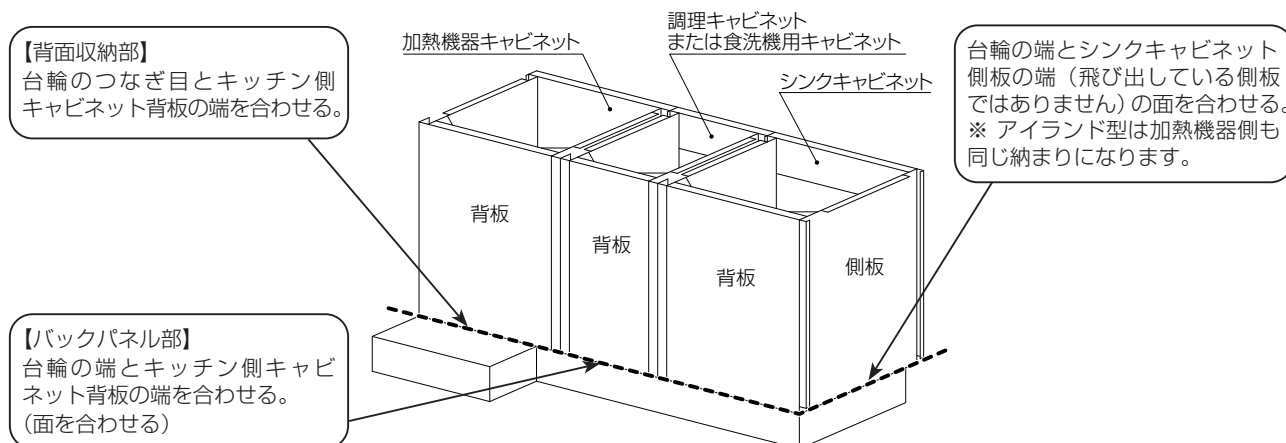
1. ベースキャビネット・ワークトップの取付け

① P.9 ~ 11「2. ベースキャビネットの取付け ① ② ③」を参照し、手順通りに正しく取付けを行ってください。

② ベースキャビネットの仮設置・キャビネット同士の左右連結

① 図面および下図に基づきキッチン側ベースキャビネットを仮設置してください。

(図は左シンクの場合、右シンクの場合は左右反転)



② 図面に基づき背面側ベースキャビネットを仮設置してください。

③ 中央のキッチン側ベースキャビネット両側板から連結ボルト M3 × 26、ナット M3 × 12 を用いて左右のキッチン側ベースキャビネット同士を連結してください。(各面 6 ヶ所固定)

③ キッチン側ベースキャビネットと背面側ベースキャビネットの背側連結

キッチン側ベースキャビネット背板の固定穴から、平座金 (ワッシャー) + トラスネジ M4 × 8 を用いて背面側ベースキャビネットを連結してください。(背面側ベースキャビネット 1 台につき両端 × 上下の 4 ヶ所)

※ 取付ネジは部品箱に同梱。

※ レーザーなどで水平レベルを確認して連結してください。

※ キッチン側ベースキャビネット背板には複数の穴があいていますが、キッチン側ベースキャビネットの長穴と、背面側ベースキャビネット背板のタップ加工位置が合う箇所を連結してください。

④ キッチン側ベースキャビネットと台輪の連結

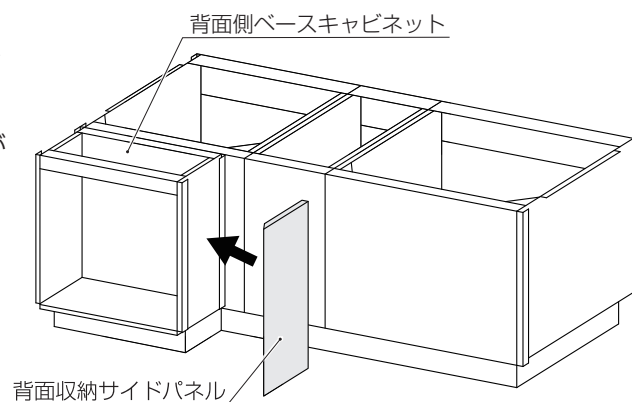
P.11「⑤ ベースキャビネットと台輪の連結」を参照しキッチン側ベースキャビネットと台輪を連結してください。

⑤ 背面側ベースキャビネットと背面収納サイドパネルの連結

① 背面側ベースキャビネットのバックパネル側の側板へ、背面収納サイドパネルをかぶせてください。

※ 背面収納サイドパネルはネジ穴のあるほうが上になります。

② 背面側ベースキャビネット側板の固定穴から背面収納サイドパネルをネジ固定してください。
使用ネジ：トラスネジ M4 × 5、6 ヶ所



※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。

⑥ 【アイランド型の場合】 ベースキャビネットと加熱機器側エンドパネルの連結

加熱機器用ベースキャビネット・背面側ベースキャビネットの側板へコンロ側エンドパネルをかぶせてください。

P.14「⑤ ベースキャビネットとエンドパネルの連結」の図を参照しベースキャビネット側板の固定用穴から、エンドパネルをネジ固定してください。使用ネジ：M4 × 5：9ヶ所

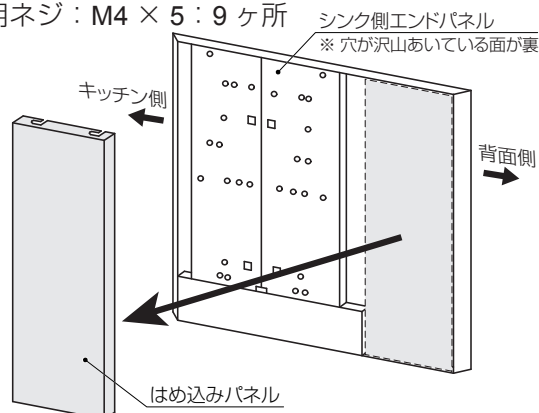
⑦ シンク側エンドパネルの取付け

- ① シンク側エンドパネル裏（穴が沢山あいている面）の養生フィルムを優しく丁寧にはがし、はめ込みパネルを外します。（右図参照）

※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。

- ② シンク用ベースキャビネットの側板へ、シンク側エンドパネルをかぶせてください。

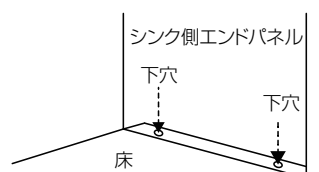
※ はめ込みパネル側が背面側になります。



- ③ シンク側エンドパネル背面側の床固定用穴2点に合わせ、床面に下穴（φ3）をあけてください。

※ レーザーなどで建ちを確認してください。

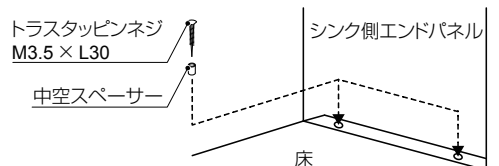
※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。



- ④ シンク側エンドパネル背面側の床固定をしてください。
使用ネジ：中空スペーサー 4 × 5.3 + A トラスタッピンネジ (M3.5 × L30：2ヶ所)

※ レーザーなどで建ちを確認してください。

※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。



⑧ キッチン側ベースキャビネットとシンク側エンドパネルの連結

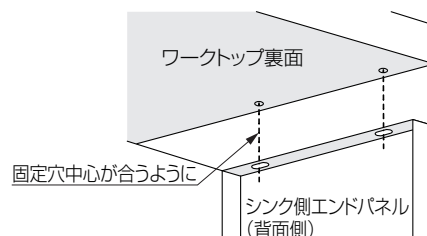
キッチン側ベースキャビネット側板の固定用穴から、シンク側エンドパネルをネジ（M4 × 5：6ヶ所）固定してください。

⑨ ワークトップの取付け

※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。

- ① ベースキャビネットの上にワークトップを仮設置し、ワークトップとベースキャビネットの左右両側のチリが均等になるように、また、シンク側背面のワークトップ裏面の固定用穴2ヶ所とシンク側エンドパネル上側の固定穴2ヶ所の位置が合うように調整してください。（シンク側エンドパネル上側の穴は長穴になっていますので、穴の中心を合わせてください）

※ 長穴のため微調整は可能。



- ワークトップ端部でケガをしないよう注意してください。
- 開梱後にワークトップを持ち運ぶときは、出来る限り立てて持ち運んでください。（奥行方向を平らにして両端を持つと、変形の原因になります）

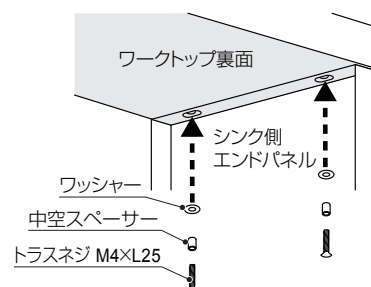
- ② ■ キッチン側および背面収納部は、ワークトップの裏面に取付 A トラスタッピンネジ 3.5 × 12 を用いてベースキャビネット内側のワークトップ固定用穴からワークトップを固定してください。

※ 背面収納部は 8ヶ所のワークトップ固定となります。

- 背面側カウンター部は、右図を参照し平座金（ワッシャー）＋中空スペーサー 4 × 5.3 + A トラスネジ M4 × L25：2ヶ所）にてシンク側エンドパネル上側の固定用穴からワークトップを固定してください。

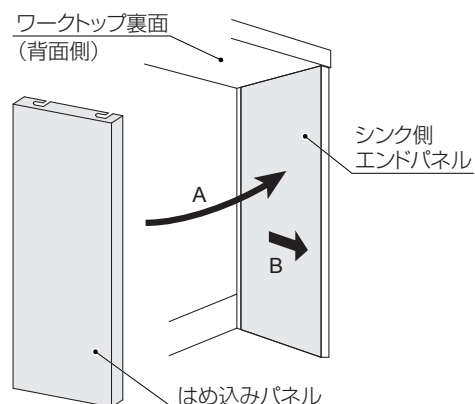
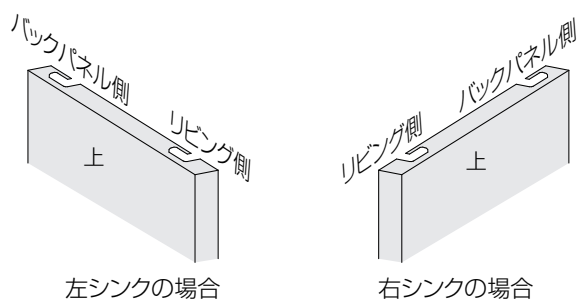
※ ネジ長さを確認してから固定してください。

※ ワークトップ取付後、水平レベル・建ちを確認してください。



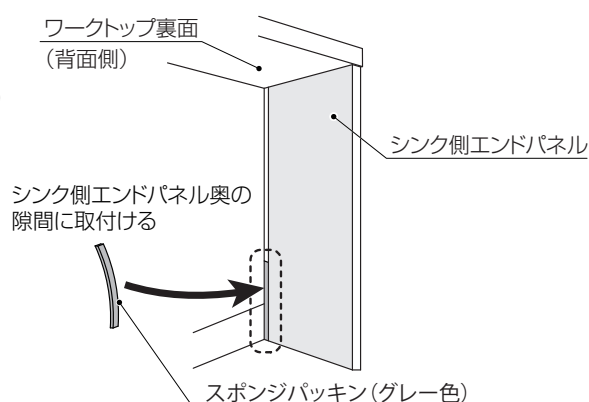
⑩ シンク側エンドパネルのはめ込みパネル取付け

- ① P.16「⑦ シンク側エンドパネルの取付け①」で取外した
はめ込みパネルを、向きに注意してはめ込み（矢印 A）、
リビング側へスライドして（矢印 B）取付けてください。



※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。

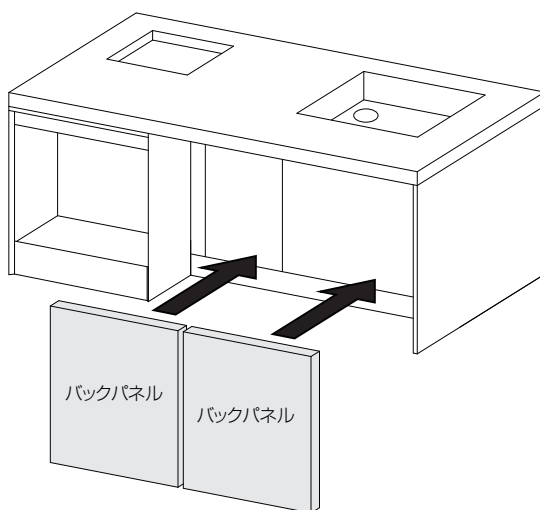
- ② はめ込みパネル奥の隙間にシンク側エンドパネル
同梱のスポンジパッキン（グレー色）を取付けて
ください。（スポンジパッキン下端と床面を合わせる）



※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。

⑪ キッチン側ベースキャビネットとバックパネルの連結

- ① バックパネル 2 枚を左右のチリが均等になるよう
位置調整し、キャビネット背板に合わせてください。
※バックパネルはネジ穴のあるほうが裏面上側です。
- ② キッチン側ベースキャビネット背板の固定穴から
バックパネルをネジ固定してください。
（使用ネジ：平座金（ワッシャー）＋トラス M4 × 8、
バックパネル 1 枚当たり 9 ヶ所）
※ 面合わせに微調整が必要な場合は、部品箱に同梱
のバンポンを使用してください。
※ バックパネルには右・左はありません。
※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。



⑫ 配管・配線の取出し穴加工

⑬ 【国産食洗機仕様の場合】国産食洗機固定金具の取付け

⑭ 点検口板支え・点検口板の取付け

P.12 の同項目を参照し取付け
を行ってください。

2. 水栓金具・排水器具・機器類の取付け

3. 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取付け

P.13 の同項目を参照し取付け
を行ってください。

1. ベースキャビネットの取付け

① 台輪の設置

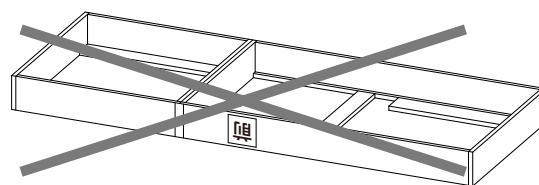
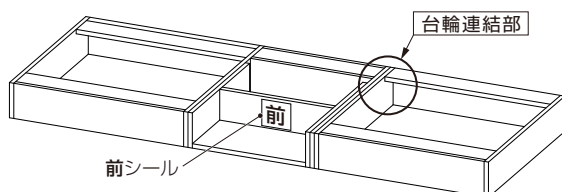
P.9「◎ベースキャビネット詳細納まり図」参照、および図面に基づき台輪を設置してください。

※ 台輪運搬時は、台輪連結部（図参照）でステンレスが変形する可能性があるのでご注意ください。

※ 台輪上面の水平レベルを出して設置してください。

● 台輪には設置向きがあり、「前」シールが貼られている面をキッチン側（調理側）に向けて設置してください。「前」シールがない面は、ウォール型の場合：背壁側、ウォール型以外の場合：リビング側となります。

※ 図の状態を設置すると上下の向きも正しく設置できます。



※ 設置向きが違くと正しく施工できませんので、注意してください。



○ 台輪上面の水平レベルが出ていないとキャビネット取付け時にゆがみが発生しますのでご注意ください。



○ 台輪、キャビネットの水平レベルが出ない場合は、部品箱に同梱の調整クサビまたは現場調達のパッキンにて、キャビネットと台輪もしくは台輪と床面の間に差し込み微調整を行ってください。

① 出荷時には、台輪の中間部（食洗機設置部）に搬送用補強箱が取付けてあります。（補強箱はまだ取外さないでください）この補強箱を設置用治具として使用してください。

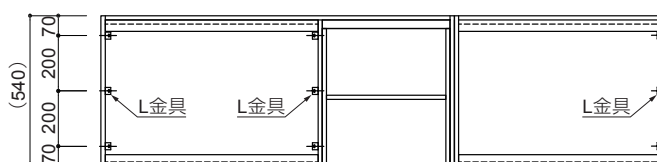
上から見た図



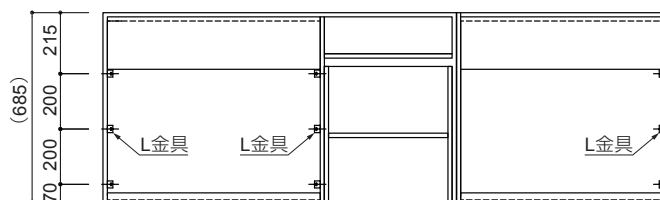
② L 金具を利用し、台輪を床に固定してください。（A 丸木ネジ 3.5 × 25）
（補強箱はまだ取外さないでください）

〈ウォール型（W600 輸入食洗機仕様のみ）
・バックパネルタイプ・カウンタータイプの場合〉

※ ウォール型で W450 輸入食洗機仕様の場合は床固定不要。

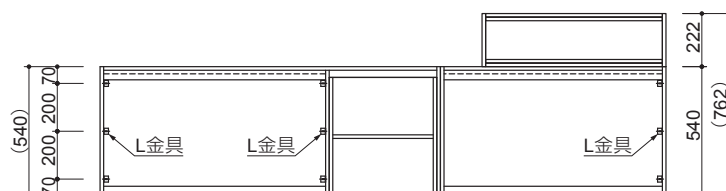


〈背面収納タイプの場合〉

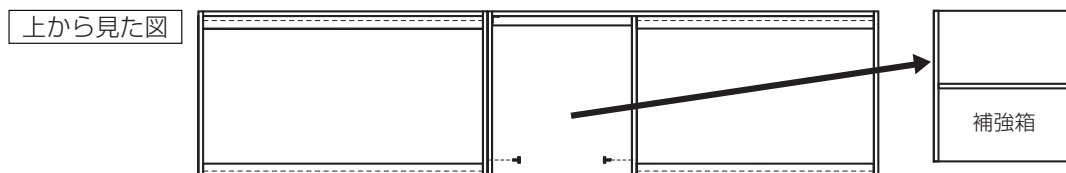


〈ハーフカウンタータイプの場合〉

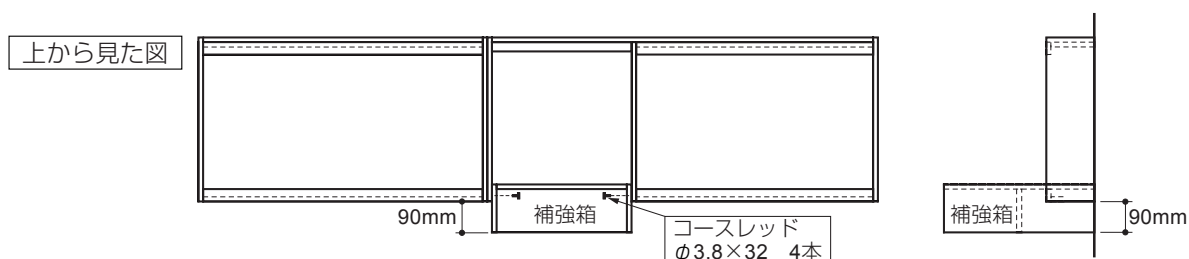
※ 図は左シンクの場合。右シンクの場合は左右反転。



- ③ 台輪と補強箱を固定しているネジを外し、補強箱を取外してください。



- ④ 補強箱の底面を正面にして立て、台輪の正面より 90mm 手前に引き寄せた場所で台輪をネジ止めしてください。
(この補強箱が食洗機の設置位置・スペースの目安となります。)



② 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取外し

P.11「③ 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取外し」を参照し、引出し・開き扉・棚板・棚受けを取外してください。

③ ベースキャビネットの取付け

① 〈ウォール型・バックパネルタイプ・カウンタータイプ〉

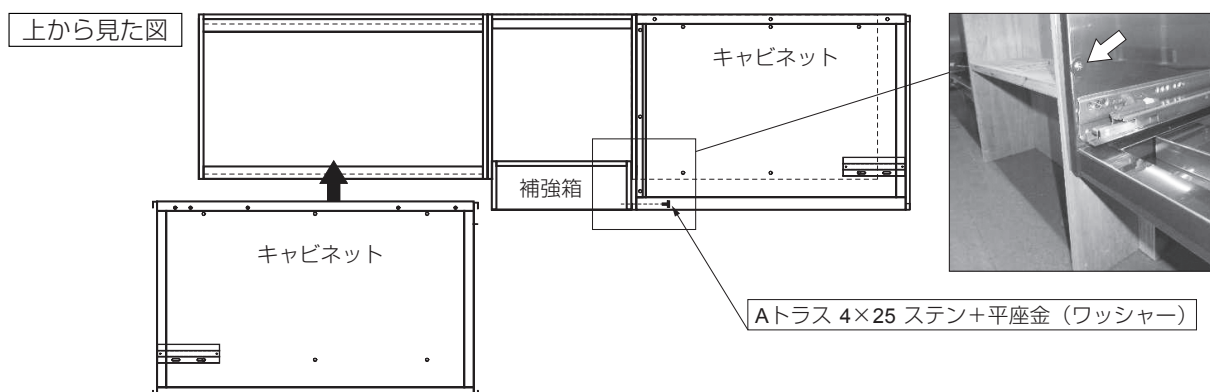
ベースキャビネット背面と台輪の背面を揃えて台輪の上に乗せ、キャビネット側から補強箱を固定してください。

使用ネジ：A トラス 4 × 25 + 平座 (ワッシャー)

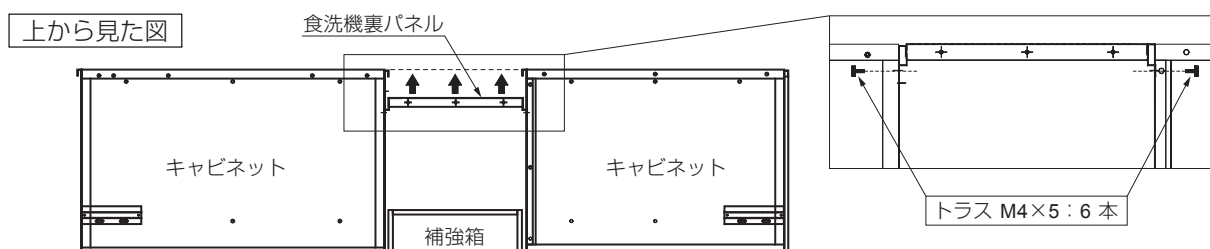
〈背面収納タイプ・ハーフカウンタータイプ〉

キッチン側ベースキャビネット前面と補強箱の前面を揃えて台輪の上に乗せ、キャビネット側からキャビネット側板の連結用穴を使用し補強箱を固定してください。

使用ネジ：A トラス 4 × 25 + 平座金 (ワッシャー)



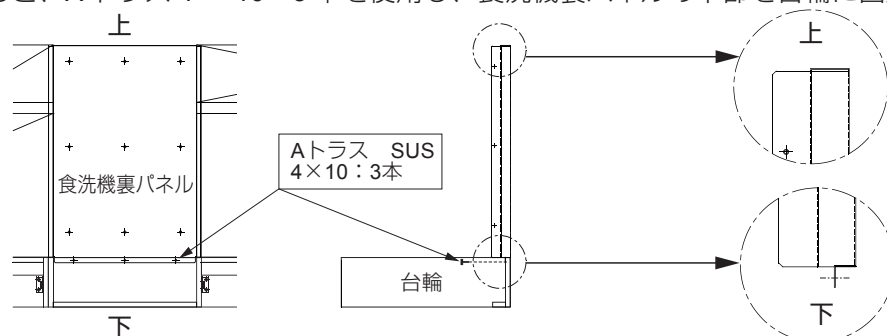
- ② キャビネットの背面に合わせて食洗機裏パネルを取付けてください。
(トラス M4 × 5 : 6 本でキャビネット側からネジで固定してください。)



③ キッチン側ベースキャビネットと台輪の位置調整を行ってください。

P.11「**⑤ ベースキャビネットと台輪の連結**」を参照してキッチン側ベースキャビネットと台輪を連結してください。

そのあと、Aトラス 4×10：3本を使用し、食洗機裏パネルの下部を台輪に固定してください。



④ 〈ウォール型の場合〉

P.11「**⑥ 【ウォール型の場合】 ベースキャビネットの背壁固定**」を参照しベースキャビネットを背壁に固定してください。

〈バックパネルタイプ・カウンタータイプの場合〉

P.11「**⑦ 【バックパネルタイプ・カウンタータイプの場合】 バックパネルの取付け**」を参照しバックパネルの取付けを行ってください。

〈背面収納タイプの場合〉

P.14 **② ③ ⑤** を参照し、以下を行ってください。

- 背面側ベースキャビネットの取付け
- ベースキャビネットとエンドパネルの連結

〈ハーフカウンタータイプの場合〉

P.15 **② ③ ⑤** ～ **⑭** を参照し、以下を行ってください。

- 背面側ベースキャビネットの取付け
- 背面収納サイドパネルの連結
- 【アイランド型の場合】加熱機器側エンドパネルの連結
- シンク側エンドパネルの取付け・連結
- ワークトップの取付け

※ 必ず、下記「**2. ワークトップの取付け**」もあわせてご確認ください。

- バックパネルの取付け・連結

④ 配管・配線の取だし穴加工

⑤ 点検口板支え・点検口板の取付け

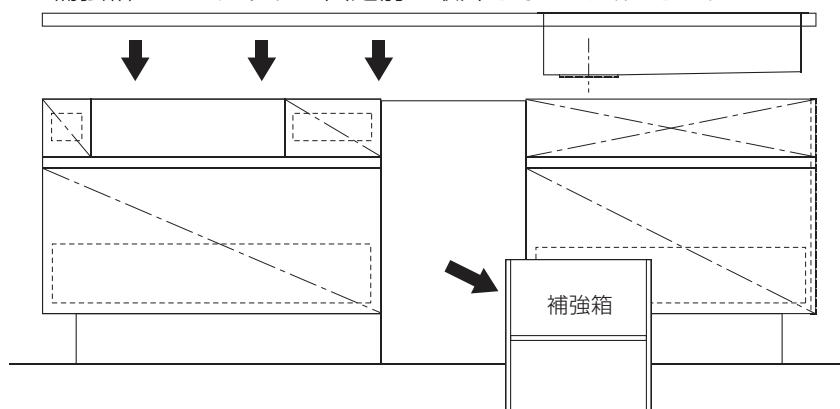
P.13 の同項目を参照し取付けを行ってください。

2. ワークトップの取付け

P.12 同項目および下図を参照しワークトップの固定を行ってください。

その後、補強箱を取外してください。

※補強箱はワークトップ固定前に取外さないでください。

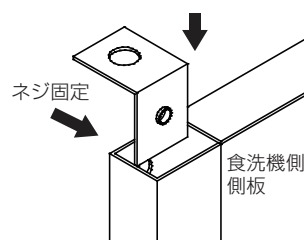


W750 コンロキャビネットの場合

W600 輸入食洗機仕様

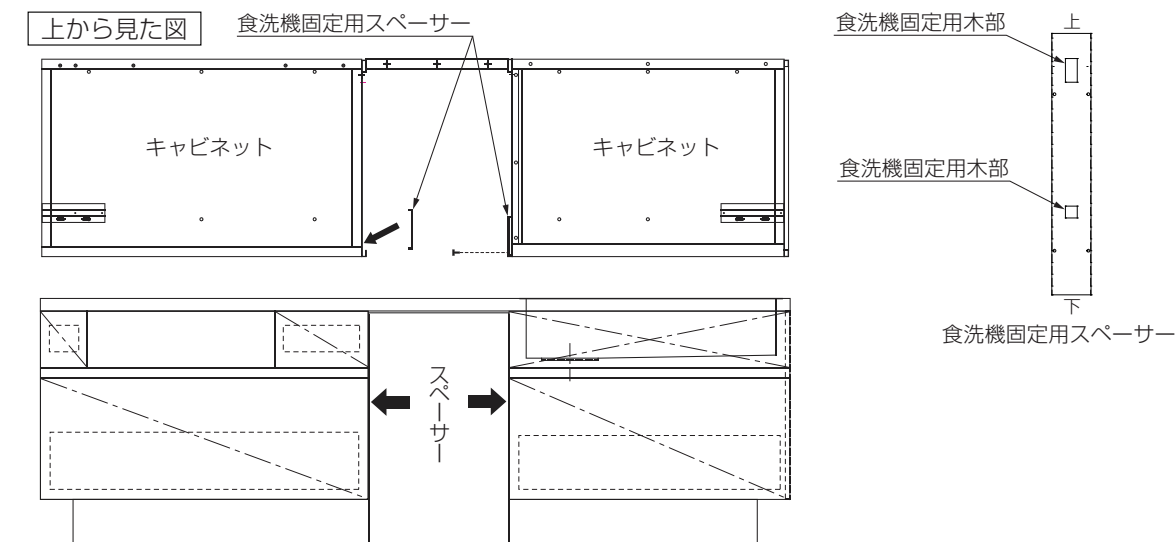
※コンロキャビネット側にL金具（台輪の部品箱に同梱）を取付、天板と固定します。

L金具は下図のように、食洗機側の側板にはめ込み、キャビネット内側より、ビス固定をします。
使用ビス：スリムヘッド M4×6

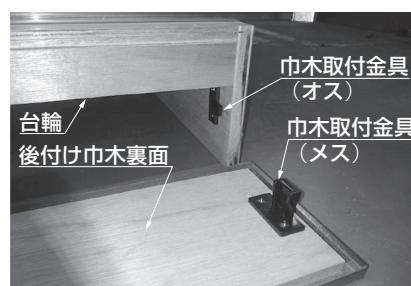
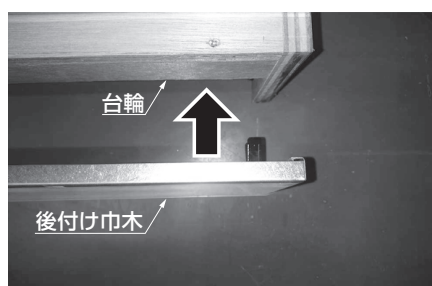
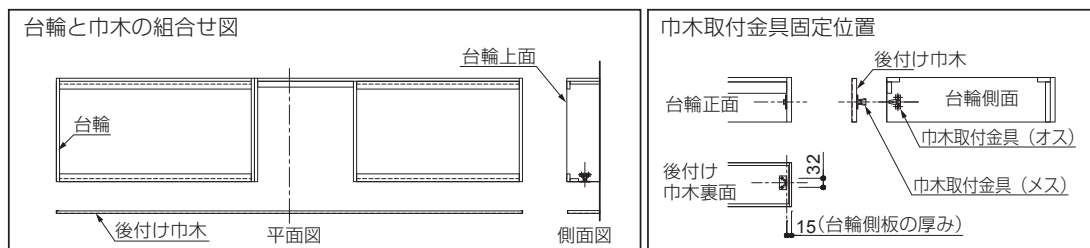
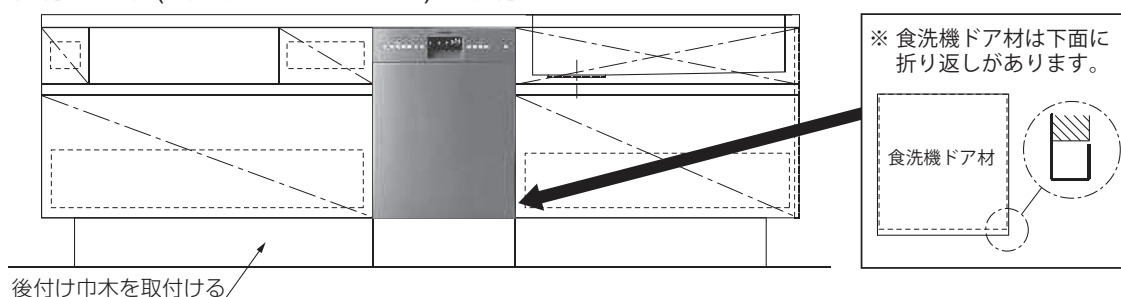


3. 食洗機の取付け

- ① 食洗機固定用スペーサーを食洗機設置スペースの側板手前側（前側）に設置し、キャビネットの連結用穴にネジ固定してください。（使用ネジ：スリムヘッド M4 × 10 片側 2 本ずつ）



- ② 食洗機を入れ込み、食洗機に同梱の説明書に従って取付けしてください。
 ③ 後付け巾木（切り欠きを上にして）を取付けてください。



- 製品を乱暴に扱うと変形・破損の恐れがありますので丁寧に扱ってください。
- 巾木取付金具（メス）は台輪に取付けられている巾木取付金具（オス）にはめ込まれています。
- 巾木取付金具（メス）は引っ張ると外れますので、外して確実に皿ネジ 4 × 12（部品箱に同梱）で取付けてください。
- 巾木取付金具（メス）の取付向きに注意してください。（写真の向きを参照してください）

4. 水栓金具・排水器具・機器類の取付け

5. 引出し・開き扉・棚板・棚受けの取付け

P.13 の同項目を参照し取付けを行ってください。

国産食洗機固定金具の取付け

《食洗機上設置》

※ 対象品番：EW-45 ＊ ＊ ＊ ＊ （三菱食洗機）

① 転倒防止金具の取付け

- 台輪の部品箱に同梱のネジ（スリムヘッド M4 × 6：2 本）を使用して、転倒防止金具を取付けてください。

※ 転倒防止金具の固定穴は手前から 3 番目を使用してください。下穴は前側を使用してください。（図 1）

※ 食洗機同梱のネジは使用しないでください。

【転倒防止金具は食洗機本体に同梱】

② 前ズレ防止金具の取付け

- 台輪の部品箱に同梱のネジ（スリムヘッド M4 × 6：2 本）を使用して、前ズレ防止金具を取付けてください。（図 2）

【前ズレ防止金具は食洗機本体に同梱】

③ 食洗機の設置

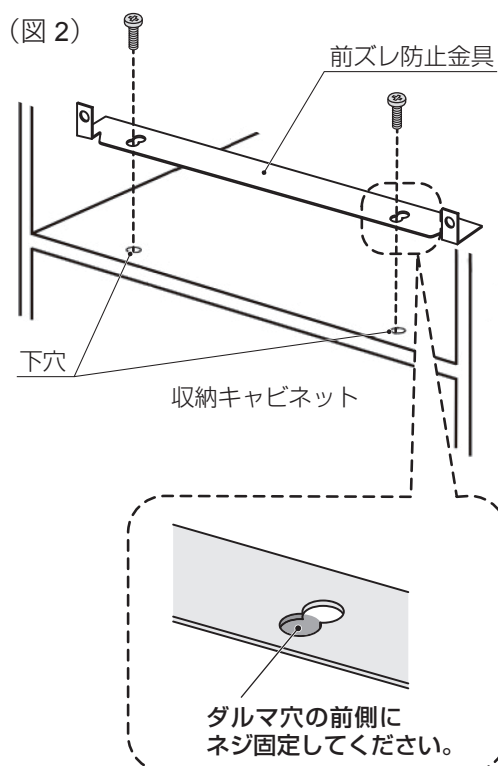
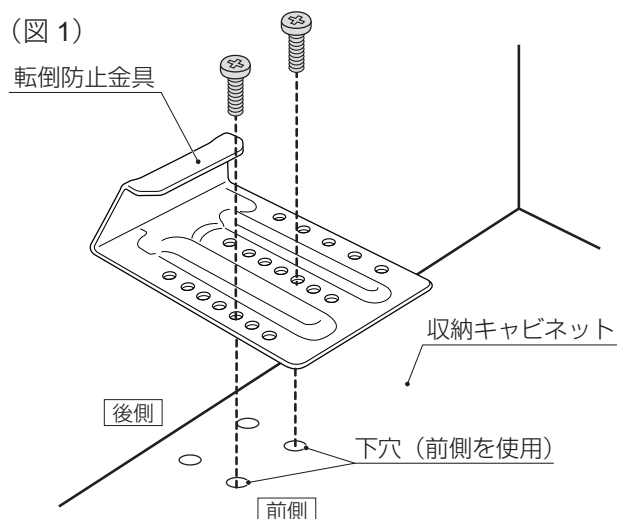
食洗機本体に同梱されている「据付説明書」に従って、食洗機を設置してください。

- 食洗機パネル固定のネジは、台輪内の部品箱に同梱しているネジ（φ 4 × 10mm）を使用してください。

※ 食洗機同梱のネジは使用しないでください。



電気工事・アース接地は説明書通り確実に行ってください。
（漏電・感電の恐れがあります）



《食洗機下設置》

※ 対象品番：EW-45 ＊ ＊ ＊ ＊ （三菱食洗機）

① 食洗機キャビネットを台輪に設置

標準仕様設置手順どおりに食洗機キャビネットを設置してください。（図 1）

② 転倒防止金具と食洗機キャビネット底板を食洗機固定枠に固定

転倒防止金具と食洗機キャビネット底板を、台輪内の部品箱に同梱のネジで食洗機固定枠に固定してください。

転倒防止金具の固定穴は手前から 3 番目と一番後ろの穴を使用してください。下穴は前側を使用してください。（図 2）使用ネジ：トラスネジ M4 × 14：4 本

【転倒防止金具は食洗機本体に同梱、ネジは台輪内の部品箱に同梱】

③ 前ズレ防止金具の取付け

食洗機キャビネット底板に前ズレ防止金具を、台輪内の部品箱に同梱のネジとナットで固定してください。（図 3）使用ネジ：スリムヘッド M4 × 6：2 本、ナット：2 セット

【前ズレ防止金具は食洗機本体に同梱、ネジ・ナットは台輪内の部品箱に同梱】

④ 食洗機の設置

食洗機本体に同梱されている「据付説明書」に従って、食洗機を設置してください。

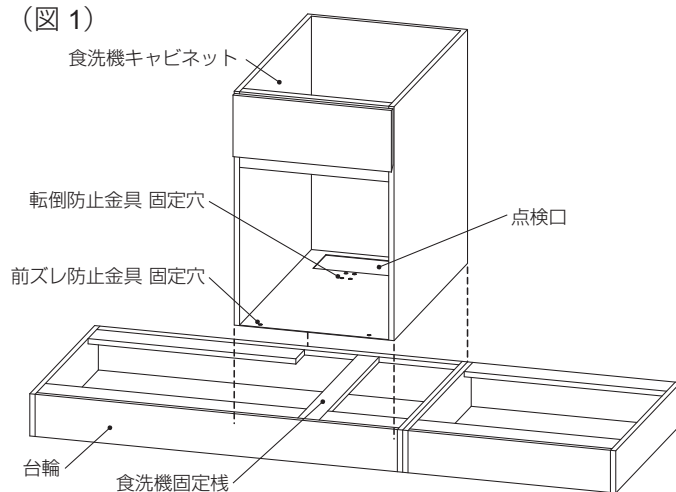
● 食洗機パネル固定のネジは、台輪内の部品箱に同梱しているネジ（φ 4 × 10mm）を使用してください。

※ 食洗機同梱のネジは使用しないでください。

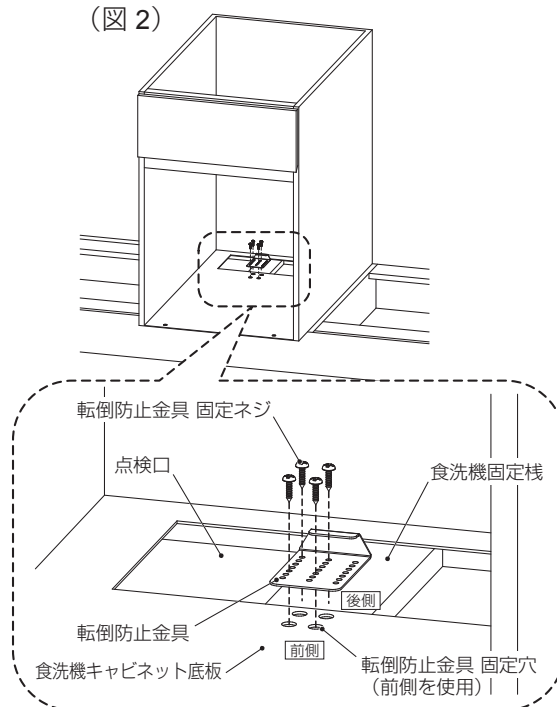


電気工事・アース接地は説明書通り確実に行ってください。
（漏電・感電の恐れがあります）

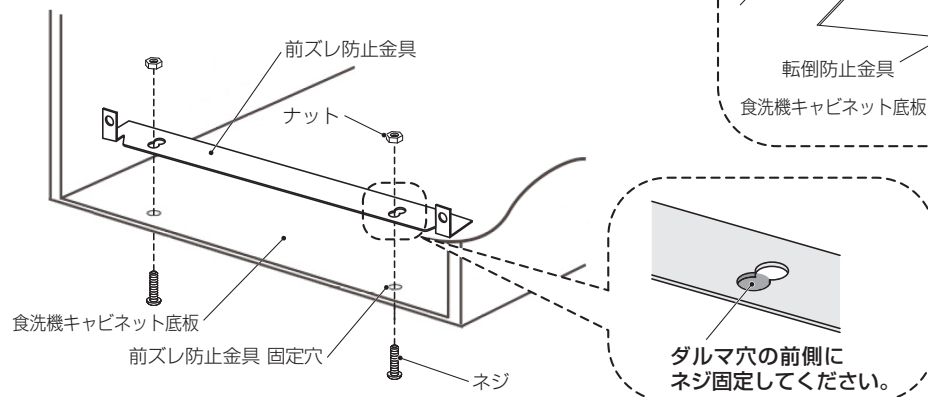
（図 1）



（図 2）



（図 3）



5 設置後の調整・確認

- 養生フィルムは優しく丁寧に剥がしてください。
- 緩衝材の黒いスポンジテープは優しく丁寧に剥がしてください。

《各部の調整》

設置完了後は、引出しなど、がたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。
調整が必要な場合は、取扱説明書「各部の調整」の要領で調整してください。

《設置後の確認》

- 設置状況の再確認
 - 引出しが、確実に取付けられていることを確認してください。
 - 電源線、ガス配管が引出しに干渉していないことを確認してください。
 - 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
 - 必ずシンクと排水トラップ接続部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。
- 設置後のクリーニング
 - キャビネットや引出しのホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

